

地域連携推進会議 議事録

社会福祉法人邑智福祉振興会 くるみ邑美園

日 時	令和7年12月19日(金) 9:30~11:30
場 所	くるみ邑美園 会議室
出席者	ご利用者様代表1名、ご利用者様ご家族代表2名、地域の関係者1名 福祉・経営に知見のある人1名、町担当者1名 施設職員6名 ※地域の関係者1名：家庭都合により欠席

議 事	
発 言 者	内 容
○開会あいさつ	
施設職員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営への協力・理解のお礼 ・地域連携推進会議の趣旨説明 地域と事業所が連携することにより、利用者と地域の方との関係づくり、サービスの透明性・質の確保や利用者の権利擁護を推進するもの ・出席のお礼、積極的に意見をいただく事へのお願い
○施設訪問（施設職員が施設内を案内）	
○施設訪問の感想及び質疑・応答	
福祉・経営に知見のある人 施設職員	<p>【質問】 調理に関することで質問があります。朝・昼・夕の食事の提供数を教えて下さい。また、調理の職員体制を教えてください。</p> <p>《回答》 現在、くるみ邑美園入所が63名、通所が1名、くるみ邑美園児童部入所が6名おられます。その為、朝食は69食、昼食64食(児童部は学校給食)、夕食69食を提供しています。</p> <p>調理の職員は8名で、内訳は管理栄養士が1名、調理員が6名、その他職員が1名です。</p>
福祉・経営に知見のある人 施設職員	<p>【質問】 現在、調理としての課題などはありますか。</p> <p>《回答》 調理員は6名いますが年配の方が多く、業務も重たい物を持つ事が多い為、腱鞘炎になる方もおられます。</p> <p>また、職員不足も課題であり、現在も栄養士・調理員を探しています。今後は配食サービスなども視野に入れ、課題解決策を検討している所です。</p>
福祉・経営に知見のある人	私の施設でも同じような課題があり、新しい機械の導入や繁

	忙期には配食サービスを利用する事も検討しています。近隣の施設同士ですので情報を共有できればと思いました。
町担当者	【質問】 施設自体も古くなっているので断熱性能も悪いように感じましたが、冬場の電気代は夏場と比べるとどれくらいかかりますか。
施設職員	『回答』 施設内の空調はほとんどがエアコンを使用しており、夏場より冬場の方が約2~3割程度増えています。
町担当者 施設職員	【質問】 ひまわり棟の床暖房はどれくらい電気代がかかりますか。 『回答』 ひまわり棟の床暖房は灯油ボイラーを使用しており、ボイラーデ温めた空気が空調として出るような構造になっています。しかし、老朽化や部品の欠品などで故障している箇所もあります。その為、新たなエアコンを設置して、常設空調とエアコン両方を使って暖を取っています。したがって、灯油代の支出も冬場は夏場より約1~2割ほど増えています。

○地域連携推進会議の説明及び質疑応答

施設職員	<p>議題</p> <p>(1) 施設や利用者に関する理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 施設概要について ② 職員状況について ③ 施設入所者の状況について ※ 資料に基づき説明を行う。 ④ ご利用者様の日常の様子について ※ 法人ホームページより活動紹介を行う。 ⑤ ご利用者様の声 ご利用者様と施設職員で対話をしながら、施設での生活の様子や活動、本人のやりたい事などを聞く。
ご利用者様家族①	<p>法人ホームページがリニューアルされ、誰でも施設の事が知れるようになっているので、もっと利用者や職員が活動している様子を配信していった方がいいと思いました。</p> <p>職員募集の方も、今は全国の人がホームページなどを見て申し込んでくる可能性があるので「この職場は楽しい場所だよ」「農業を率先してやる方は優遇しますよ」といったアピールを増やした方がいいと思いました。</p>
ご利用者様家族①	【質問】 利用者の食事は食事内容の掲示や食事に関する調査などは行

施設職員	<p>われていますか。</p> <p>『回答』 ご利用者様にとって「食事」は一番楽しみにしている事です。その中で一日の献立は朝・昼・夕ごとに掲示し、ご利用者様が見られるようにしています。職員もそれを通じてご利用者様とコミュニケーションをとるきっかけとしています。</p> <p>また、年に一回嗜好調査を実施しており、ご利用者様の好き嫌いなどを把握しています。保健所の衛生指導も入る関係で食事提供前の検食や食品サンプルの保存も行っています。</p>
ご利用者様家族② 施設職員	<p>【質問】 利用者が入浴する時には職員が二人で支援をしていますか。</p> <p>『回答』 重度棟の風呂場はご利用者様に合わせて高さを低くしています。また、ご利用者様が入浴する際には職員が風呂場に一人、脱衣室に一人常駐するようにしています。事故等も起こりやすい時間帯なので職員も気を付けて支援をしています。</p>
町担当者 施設職員	<p>【質問】 自治会主催の秋祭りやクリスマス会はどんな事をしていますか。自治会というのは地域の方を呼んでいるのですか。</p> <p>『回答』 自治会はくるみ邑美園ご利用者様で組織した会です。ただ、地域との交流も実施しており、10月に開催された祈幸会主催の「親子ふれあいの日」には地元の吹奏楽団や神楽団に来ていただきました。今後も地域の方との交流の場を積極的に取り入れていければと思っています。</p>
ご利用者様家族①	<p>(2) 施設等のサービスの透明性・質の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 経営状況について ② サービスの透明性並びに質の確保の取り組みについて ③ BCP(業務改善計画)について <p>※ 資料に基づき説明を行う</p> <p>(3) ご利用者の権利擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事故・ヒヤリハット・虐待の報告について ② 権利擁護の取り組みについて <p>意思決定支援、Sunさん運動、行動規範の唱和の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 身体拘束について ④ その他の対応 ⑤ 苦情解決について <p>※ 資料に基づき説明を行う</p> <p>【質問】 収入の推移について説明がありましたが、基本報酬や国から</p>

	<p>の支援などは増えていますか。</p> <p>『回答』 基本報酬も障害区分ごとで金額に違いがあり、その他に加算という形で施設が取り組めば収入が得られるようになっています。報酬改定は3年に一度実施され、直近では令和6年度になりました。その改定では報酬が上がった部分もありますが、下がった部分もあります。当施設では以前、定員が73名でしたがそのままだと報酬が少なくなる為、定員を70名に変更しました。</p> <p>近年、人件費の高騰や最低賃金の改定を受け、当法人では職員の賃金改定を実施しております。併せて、物価高騰による経費支出の増加を踏まえ、安定した法人運営のため、収入増加に向けた取り組みを継続しております。</p>
ご利用者様家族①	<p>【質問】 収入と支出のバランスが合わないと大変だと思う。利用者が減れば収入も減るし、人件費は上がるばかりなのではないか。</p>
施設職員	<p>『回答』 当施設では、将来的な建て替えを見据え、利用者数を段階的に調整しております。一方で、收支のバランスを確保する必要があることから、利用者数に応じた適切な職員配置や経費削減に向けた取り組みを行い、安定的な事業所運営ができるよう努めています。</p>
ご利用者様家族①	<p>【質問】 施設職員の最低賃金は11月から1,033円に上がっていますか。</p>
施設職員	<p>『回答』 当法人では、島根県の最低賃金適用日を待たず、令和7年10月1日より賃金改定を実施し、最低賃金を上回る賃金単価を適用しております。今後も人件費の上昇が見込まれる中、職員の給与は重要な要素であることから、優秀な職員の確保および質の高い利用者支援の維持を目的として、引き続き賃金水準の確保に努めてまいります。</p>
ご利用者様家族①	<p>「虐待」の部分で今も全国的にいろいろな施設で非常にひどい虐待、中には殺傷事件まで出てくるケースがあると聞きます。職員同士でも人間皆考え方の違いはあると思います。くるみ邑美園でも職員同士が情報共有のしやすい、声を出しやすい(風通しの良い)ようにしてほしいと思います。今後ともよろしくお願いします。</p>
町担当者	<p>ヒヤリハット報告書でしっかりと数が出ているのを見て安心しました。逆に報告数が少ないと不安になりますが、しっかり出されているな</p>

	と感じました。私も老人ホームで働いていた事があり、その時にヒヤリハットに入れるかどうか迷ったことが何度もあったのでこのような取り組みをしていていいなと思いました。
○当施設の状況と課題・今後の方針等について	
施設職員	<p>当施設は平成7年に建設され、現在約30年が経とうとしています。年数的には老朽化とは言えませんが施設自体も様々な箇所が傷んでおり、故障している部分も多くあります。また、支援についてもご利用者様に不便をかけている所や怪我のリスクがある所もあります。その為、事業所としてもできるだけ早い段階で建て替えを検討していますが、同じような課題を持った施設は多くあり、県や国の方も予算的援助が難しい状況です。法人の自己資金で建築するにも物価高騰で年々金額が上がってきています。</p> <p>国としては障害者の方を地域へという考え方を持っており、都会の方では障害者の方の意思を確認しながら地域での生活を取り組んでいます。しかし、田舎ではその受け皿となる場所がないのが現状です。ただ、「地域へ」というのが「地域に出て暮らす」だけではなく、「地域の方と交流する」というのも当てはまると思うので今後は今回の会議のように地域の方の力も借りながら施設がもっと発展していくべきと思っていますのでご協力をよろしくお願いします。</p>
○閉会あいさつ	
施設職員	<p>本日は、地域連携推進会議にご参加いただき、貴重で活発なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>皆様からいただいたご意見を今後の取り組みに生かしながら、毎年継続して実施してまいりたいと考えております。引き続きご理解とご協力ををお願いいたします。</p>